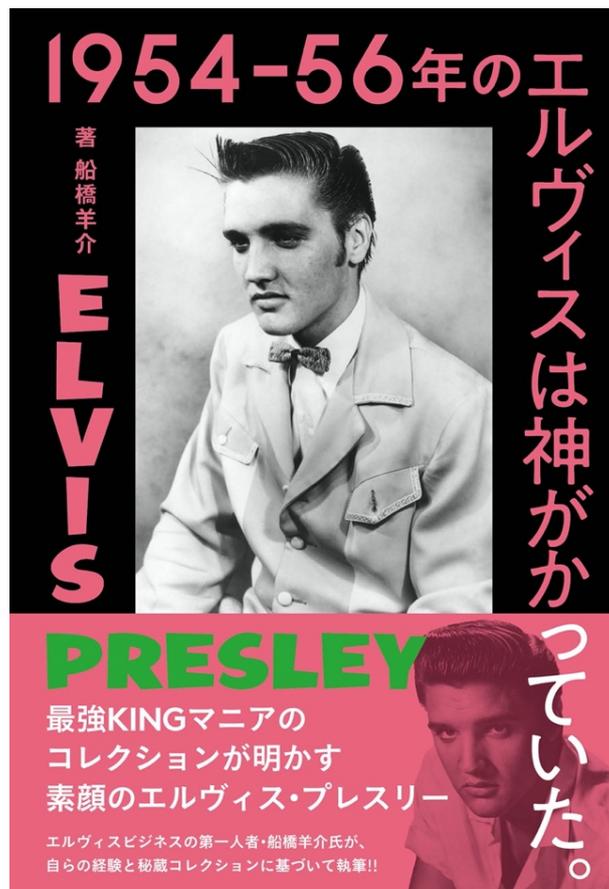


各 位

2022年10月21日  
株式会社リットーミュージック

最強 KING マニアのコレクションが明かすエルヴィス・プレスリーの素顔  
書籍『1954-56年のエルヴィスは神がかった。』発売！



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）内で文芸・カルチャー関連を扱う出版レーベル立東舎は、『1954-56年のエルヴィスは神がかった。』（船橋羊介 著）を、2022年10月21日に発売します。

船橋羊介氏は世界最強のエルヴィスマニア／ディーラーとして知られているほか、アパレルブランド 706union を主宰し、1950年代のアメリカファッションを現代に甦らせている人物。話題となった映画『エルヴィス』でも、主人公オースティン・バトラーが 706union のフロリダシャツを着用するなど、その評価は本国アメリカでもお墨付きです。そんな船橋氏が、自身の豊富なコレクションから読み解く「素顔のエルヴィス・プレスリー」には、従来の評伝や伝記で語られてきたものとはまた違った魅力が満載です。またカラーページでは貴重なコレクションの一部を惜しげもなくご紹介と、眺めるだけでも楽しめる 1冊となっています。



上:「ポプラー・チューンズ」の表裏表裏と、ポプラー通り沿いにあるコーポショップ。下:店内に置かれたエルヴィス・プレスリーの等身人形とエルヴィス・プレスリーの自画像。

レコードを買っていたようだ。この2つのレコード店は残念ながら現在存在しない。ただ私がメンフィスに住んでいた頃、まだ営業していたポプラー・チューンズ社長からこんな話を聞いたことがある。「エルヴィスがデビエーしたとき、彼のレコードを初めて販売したのはこちらだ」と話していたんだ。地元のもうひとつのレコード店「チャーリーズ・リズ、同業店「土」」も「元相棒」と抹殺するのは万国共通らしい。

エルヴィスが実際に所有していたアーティストのレコードは、「コペル」・ブランク・ワット・フランク・マヘリア・ジャクソン、スタンズ、カルテット、ステューメン、カルフット、「カントリー」・パット・クライン、ハンク・ウィリアムズ、「ブルース」・レイ・チャールズ、ジョン・リー・フッカー、B.B.キング、アレサ・フランクリン、チャック・ベリー、フランク・シナトラ、リトル・リチャード、ビッグ・マム・ワンダ、ドリフターズ、インク・スプットなどがある。

60・70年代にはビートルズ、ジャクソン5、ピー・ジーズ、ステイヴ・ウィーラー、ワンダ



SUNレコード時代の5枚のレコード。この曲の長さを比較すると、なんと3秒も違う!

代に発売されていた曲と比べると3秒長い。「Mystery Train」ももちろん皆大な音。

以上がSUNレコード時代のSP5枚の長さ。ところが、入手する際にプレス状態が異なるか、音が良いものと悪いものの個体差が激しい。中には海賊版もあり、見た目では判別がつかない。値段が高い上に海外でしか手に入らないことが多いので、試聴して買うとかなり怖い。とはいえず、大変な思いをしてでも手に入れる価値のあるものだと思っている。

こちらは発売時最も売れなかったため、現存数が少なく希少性が高い。両面共にマスター紛失音源で、SPで聴くと別の曲に聴こえるほどカッコ良いのはまさにこの曲。

○「Mystery Train」  
「Baby Let's Play House / I'm Left, You're Right, She's Gone」  
1956年4月25日発売  
1956年8月1日発売  
こちらは2曲共、曲が始まる前に真空管のブローイング音が入る。「Mystery Train」は最後のブローイング音部分にあり、SPではブローイング音がカットされている。世に出ている音源の中で、一番最後の方で収録されており、90年代に発売された1曲。

○「Mystery Train」  
「Baby Let's Play House / I'm Left, You're Right, She's Gone」  
1956年4月25日発売  
1956年8月1日発売  
こちらは2曲共、曲が始まる前に真空管のブローイング音が入る。「Mystery Train」は最後のブローイング音部分にあり、SPではブローイング音がカットされている。世に出ている音源の中で、一番最後の方で収録されており、90年代に発売された1曲。

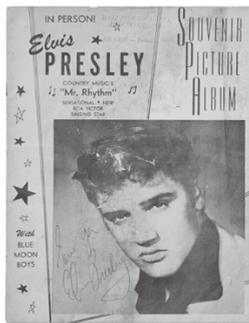
1956年の前期、中期、後期に分けて3種類のフォトアルバムが作られた。これは主にコンサート会場で販売されたもので、敏腕マネージャーであるパーカー1次佐の販売戦略のひとつだ。

エルヴィスの写真がプリントされた2枚のベリジ前後の小冊子で、日本でもコンサート時に同じようなものが販売されていた。

○前期 (1月)  
「Souvenir Photo Album」  
1956年にメンフィスの「スピア」フォトグラフィーで撮影された、パーカー時代のエルヴィスの写真がカバー。エルヴィスには「Mr. Rhythm」というニックネームが付けられている。メンフィスのSUNレコードからデビエーした。

○中期 (4月)  
「Souvenir Photo Album」  
1956年7月、フロリダ州タンパで撮影された有名な写真が使われている。フォトアルバムだが、このエルヴィスの愛称は「Mr. Rhythm」になっている。1956年3月、ワシントン州のエルヴィスが撮影されており、そのジャケットのデザインは「Mr. Rhythm」と同じデザインを使用している。

1956年に作られた3種類のフォトアルバムが物語る激動の1年



Elvis 1956 Concert Program  
「Mr. Rhythm」  
1956年8月にコンサート会場で販売された、エルヴィスの初のアルバム。メンフィスから発売されるまで、エルヴィス以外の音楽アーティストの顔、エルヴィスのコンサート写真などが収録。

正解を突き止めるのは、世界があつた。エルヴィスは指輪やネックレスなど、くまのアクセサリーを着けているイメージがあるが、1954〜55年の期間はネックレスを着けている写真を確認できないのだ。

その理由は、近年見つかった1950年の8月、エルヴィスに贈られた、チェーンが長いので、そのため、ペンダントトップの位置はみぞおちの辺りにくる、これでは見えないはずだ。

このセント・クリストファー、最初は何の柄なのかわからなかった。当時の写真、基本的にはエルヴィスの顔にペンダントが合っていたから、うっすらと形は見えたり、四つ葉のクロスポールであることは認識できたが、細かい柄までは突

クリストファーが我々を守ってくれる」というメッセージも記されている。セント・クリストファーの守り神としての愛



50年代のヴィンテージ、セント・クリストファー・ペンダントトップ。縁起の良い四つ葉のクロスポールに、聖クリストファーの像が描かれたクロスポールが描かれている。背景には、車、飛行機、舟車、船の像が描かれており、また乗船した。

きたることもあつた。エルヴィスの経歴上、細かいところは見えなくてもインポートさえあれば、そこを基準に探していけば該当する現物は見つかることが多い。だからこそ、50年代のクロスポール・ペンダントを長いこと探してきた。

そして10年超して発見することができた。1954年で見つけた柄と現物の模様がピッタリと符符した。セント・クリストファーであることがわかり、この時期のエルヴィスの状況と照らし合わせることで、着ける意味まで見えてきたとうわや。

エルヴィスの歴史を振り返ることが、孝治さんのようなものだと思えることがある。そこに喜びがあり、コレクターの沼から出られない理由のひとつなのだ。

02 Jacket Hollywood Sports Wear Co. "Capistrano"



ナゾージャケット 1956年1月に雑誌を掲載してラスベガスを離れたと知られ、1957年の映画『Flamingo!』、『Jailhouse Rock』まで頻りに着用。カールと比べ、裾丈が短く、袖口が広くなっているのが特徴。

01 Jacket Hollywood Sports Wear Co. "Carmel" WhitesBlack Fleck



ナゾージャケット 1956年4月のラスベガス公演は着用していた。これは、カーネルの中でも最もファンファーシアに人気が高いレーンスタイル。白物・黒物の柄に黒色のフロックが施されているデザインが特徴。

Elvis Presley Collection EPE (Non EPE) Goods



1956 EPE ヒッド いかめしいデザイン。当時のベストセラーアルバム『Love Me Tender』のジャケットデザインを模したデザイン。



1957 EPE John's Pocket Movie 雑誌『Movie Review』に掲載されたエルヴィスの写真が描かれたポケットサイズのミニアルバム。



1956 EPE Elvis Side Burns/ワープ パンチ エルヴィスのトレードマークであるサイドバーンを模したデザイン。そのほか、ワープのデザインも採用されている。



1956 EPE I Like Elvis 当時の人気歌手のアルバムジャケットを模したデザイン。エルヴィスのアルバムジャケットも採用されている。



1956 Non EPE Loving You イヤリング エルヴィスにちなみ、イヤリングも採用されている。1957年の映画『Loving You』のデザインも採用されている。



1956 EPE Pentastar エルヴィスのペンダントトップのデザインを模したデザイン。当時のペンダントトップも採用されている。



1956 Non EPE Loving You イヤリング エルヴィスにちなみ、イヤリングも採用されている。1957年の映画『Loving You』のデザインも採用されている。



1956 EPE Preslett エルヴィスのペンダントトップのデザインを模したデザイン。当時のペンダントトップも採用されている。



1956 EPE Tシャツ エルヴィスのトレードマークであるサイドバーンを模したデザイン。そのほか、ワープのデザインも採用されている。

1956 EPE Tシャツ エルヴィスのトレードマークであるサイドバーンを模したデザイン。そのほか、ワープのデザインも採用されている。



1956 EPE スカーフ 軍用デザインを模したデザイン。エルヴィスのトレードマークであるサイドバーンを模したデザイン。そのほか、ワープのデザインも採用されている。



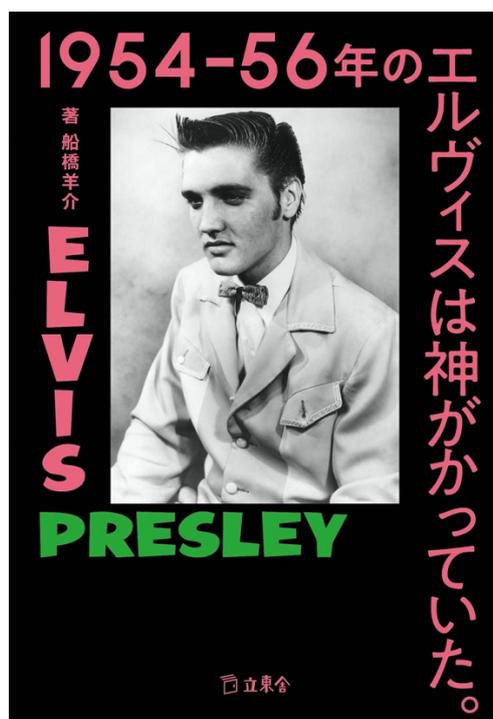
1956 Non EPE スカート エルヴィスのトレードマークであるサイドバーンを模したデザイン。そのほか、ワープのデザインも採用されている。



1956 EPE ハット エルヴィスのトレードマークであるサイドバーンを模したデザイン。そのほか、ワープのデザインも採用されている。



1956 Non EPE スカート エルヴィスのトレードマークであるサイドバーンを模したデザイン。そのほか、ワープのデザインも採用されている。



#### ■書誌情報

書名：1954-56年のエルヴィスは神がかっていた。

著者：船橋羊介

定価：2,420円（本体2,200円＋税10%）

発売日：2022年10月21日

発行：立東舎／発売：発行：リットーミュージック

商品情報ページ <http://rittorsha.jp/items/22317402.html>

#### CONTENTS

プロローグ 我こそがエルヴィスマニア -船橋羊介-

第1章 THE KING は世界のファンを幸せにする

第2章 マニアが読み解く本当のエルヴィス

第3章 ミステリーだらけのレコードコレクション

第4章 雑誌・広告から検証するエルヴィスの私生活

第5章 エルヴィスの愛用服

第6章 ハーレーとキャデラック。一生愛した乗り物について

コラム

邂逅1 アルフレッド・ワートハイマー

邂逅2 スコッティ・ムーア

エルヴィスが愛用したギター

特別対談 ギターウルフ・セイジ×船橋羊介

船橋羊介 エルヴィスグッズコレクション

#### PROFILE

船橋羊介（ふなばし・ようすけ）

706 ユニオン代表

50s アメリカのヴィンテージ古着をベースとしたカジュアルファッションを提案する〈706 union〉  
主宰。エルヴィス専門店の店長を経て、アメリカ・メンフィスに赴きエルヴィスが愛した洋品店

〈ランスキーブラザーズ〉跡地にてエルヴィス専門店を運営。その際、エルヴィス財団との交流も。生粋のエルヴィスコレクターだが、それ以上に30年にもわたるディーラーとしての活動は世界中のエルヴィスファンから知られており、今も頼られる存在である。

【立東舎】 <http://rittorsha.jp/>

立東舎は文芸、マンガほか、さまざまな分野のポップカルチャーを紹介する出版活動を展開中。「乙女の本棚」などの好評シリーズのほか、手塚治虫、谷ゆき子らの幻のマンガの復刻などで感度の高い読者の話題を集めている出版ブランドです。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)